

建設コンサルタント等課題検討 ワーキングチームの発足

国土交通省関東地方整備局企画部技術管理課長

はとり こういち
羽鳥 耕一

1

発足の経緯

国土交通省では、建設コンサルタント業務等の発注に係る業者選定過程の透明性を図る観点から、従前より入札結果等の公表を実施してきたところであるが、平成14年9月、入札および契約の過程ならびに契約内容の透明性をより一層向上させる観点から、次の内容について公表することとされた。

(1) 通則的事項

- ・競争参加資格
- ・有資格業者名簿
- ・各地方整備局ごとに定めている技術審査基準
- ・苦情処理通達 等

(2) 指名競争に付した場合

- ・指名業者名および指名の理由
- ・予定価格
- ・予定価格の積算内訳
- ・成績評定点通知書 等

(3) プロポーザルに付した場合

- ・選定業者名および選定理由
- ・特定業者名および特定理由 等

(4) 随意契約によることとした場合

- ・随意契約理由書 等

このような状況を踏まえ、今般、関東地方整備局企画部では、建設コンサルタント業務等（港湾

空港関連を除く）のうち、土木関係建設コンサルタント、測量、地質調査の三業務を対象に、より高い性能のものがより安い価格で計画・設計されるよう、入札・契約のプロセスにおいて、より一層の競争性、透明性を確保するための方策等を検討するため、平成14年11月に建設コンサルタント等課題検討ワーキングチームを発足させたところである。

2

ワーキングチームの構成

ワーキングチームは、現場を熟知する者の意見（現場の声）を施策に反映することを目的に、関東地方整備局管内工事事務所の調査担当副所長等で構成することとした。

ワーキングチームの構成

- ・技術開発調整官（リーダー）
- ・技術管理課長
- ・技術管理課長補佐（事務局）
- ・情報システム課長
- ・江戸川工事事務所副所長
- ・下館工事事務所副所長
- ・荒川上流工事事務所副所長（サブリーダー）
- ・荒川下流工事事務所副所長
- ・京浜工事事務所副所長
- ・首都国道工事事務所副所長（サブリーダー）
- ・横浜国道工事事務所副所長
- ・大宮国道工事事務所副所長
- ・千葉国道工事事務所副所長
- ・常陸工事事務所副所長
- ・関東技術事務所副所長（サブリーダー）

3

検討の進め方

ワーキングチームでは、建設コンサルタント業務等の抱えるさまざまな課題のうち、早急に解決すべき技術審査基準関係、プロポーザル関係およびテクリスシステム関係の3課題について、それぞれサブリーダーを指名して検討を行うこととした。

4

検討課題

(1) 技術審査基準案の作成

関東地方整備局においては、建設コンサルタント業務等に係る統一的な技術審査基準を定めていないことから、各事務所等が独自に入札参加業者の指名選定等を行ってきたところであるが、一般、より一層の透明性、競争性の確保のため、本ワーキングチームの意見を踏まえ、統一的技術審査基準を作成することとした。

基準案作成にあたっての主な課題は、以下のとおりである。

- ・業務成績の評価方法
- ・手持ち業務の評価方法
- ・当該業務の技術的適性に関する評価内容・方法
- ・プロポーザル方式における選定・特定基準

(2) プロポーザル方式の改善

コンサルタント業務の質は、担当する技術者の資質に負うところがきわめて大きいことから、関東地方整備局では、技術提案の内容と担当する技術者の能力や実績を審査して建設コンサルタント等を選定するプロポーザル方式の適用を拡大しているところであるが、この実施結果等を踏まえプロポーザル方式実施上の課題について検討するものである。

本ワーキングチームでは、管内事務所等がプロポーザル方式の手続き等を統一的、効率的かつ的確に実施できるようにする観点から、検討結果を「プロポーザル方式実施上の留意点」として、とりまとめる予定である。

留意点作成にあたっての主な課題は、次のとおりである。

- ・技術提案書作成要領、提案書の提出方法、補足資料閲覧および質問回答方法など、技術提案書の作成に関する見直し改善
- ・ヒアリング方法、内容等の見直し改善
- ・手続きの簡素化
- ・情報公開内容のあり方

(3) テクリスシステム（測量調査設計業務実績情報サービス）

テクリスは、入札・契約の手続きの透明性、客観性および競争性をより一層高めつつ、技術力に信頼のおける企業の選定を支援するものであり、公共事業に関する業務実績情報をデータベース化し、各発注機関等に情報提供サービスを行っているものである。

本ワーキングチームでは、コンサルタント業者選定等の効率的な実施の観点から、このたび改良されたテクリスシステムの Ver 4.0の使用実績も踏まえつつ、ユーザーの立場からの改善案についてとりまとめる予定である。

改善案検討にあたっての主な課題は、次のとおりである。

- ・検索時間の短縮化
- ・業務キーワードの活用のあり方
- ・効率的かつ的確な検索方法の提案
- ・検索結果の効率的な活用方策

5

今後の予定

ワーキングチームでは、今後定期的に会議を開催し、各課題について議論を行い、平成14年度内に、「技術審査基準案」「プロポーザル方式実施上の留意点案」および「テクリスシステムの改善案」を作成する予定である。

なお、各事務所の調査担当副所長にあつては、年度末に向け事業執行等で大変な忙しさを迎えることとなるが、メール等の活用によりワーキングチーム内で意見交換・情報交換を適切に実施し、検討を効率的に進めたいと考えている。